

地理 北海道大学(総合入試【文系】, 学部入試【文】)(前期)

1

- 問1 a－太平洋プレート b－海溝型
c－直下型（内陸型） d－耐震化（免震化）
- 問2 河口部に位置する低平な地形で，砂や泥などの軟弱な地盤から成り，地震による揺れが増幅されるため。
- 問3 ニ
- 問4 ハザードマップには津波によって被害が生じる場所や被害の程度，発生した際の避難場所や避難経路が示されており，あらかじめ住民に危険性を周知させるとともに，避難訓練の実施によって迅速かつ適切な経路で避難行動をとることができるようになる。
- 問5 町役場が津波の被害を受けやすい台地の崖下から被災しにくい台地上に移転し，町役場までの幅の広い道路を新たに建設したことで，多くの住民が速やかに避難できる安全な避難場所になるほか，町が見渡せるので被災状況が把握しやすくなる。また，町役場が被災を逃れることで発生後の復旧や被災住民への対応も可能となる。

2

問1 a－白い革命 b－ヒンドゥー c－イスラム
d－鶏 e－ピンクの革命

問2 低緯度の高原に位置し、いずれも安価で豊富な労働力によって輸出用に生産されており、紅茶は、イギリス植民地時代からプランテーション農業によって排水良好な高原で栽培され、切り花、野菜と果実は、年中温和な気候を背景に通年で栽培されている。

問3 ①－イタリア ②－日本 ③－イギリス ④－フランス

問4 低カロリーで単価の高い野菜の自給率は比較的高く、高カロリーで単価の低い小麦や飼料用のトウモロコシの自給率は低いため、生産額ベースがカロリーベースより高い。

問5 北海道－F，ニュージーランド－C

出荷動向－国内産地の出荷は6～12月に多く、冷涼な北海道は8～12月に集中し、6～8月は温暖な国内他産地の出荷が多い。一方、国内産の端境期となる1～6月では、南半球に位置し日本と季節が逆となるニュージーランドからは3～5月に、低緯度で年中温暖なメキシコからは1月・2月、6月に出荷が多くなる。

問6 A－太陽光型 B－人工光型

理由－Aは、日照時間が長い太平洋側や広い用地が得られる北海道で割合が高いため、太陽光型であり、Bは、日照時間が短い日本海側や広い用地を確保しにくい大都市圏で割合が高いため、人工光型である。

3

問1 A-地球温暖化 B-持続可能な開発

C-気候変動枠組み条約

問2 公害-工業生産や事業活動にともなって生じる大気汚染, 水質汚濁, 土壌汚染, 騒音, 振動, 地盤沈下, 悪臭など, 周辺住民に健康被害や住環境の悪化を引き起こすものである。

公害と地球環境問題の違い-公害は, 加害者と被害者が明瞭な場合が多く, 比較的狭い範囲で発生するが, 地球環境問題は, 加害者と被害者が不明瞭で, 地球規模の広範囲に及ぶものである。

問3 イ, ハ

問4 ①-へ ②-ニ ③-ロ

問5 D-京都議定書 E-パリ協定

両者の違い-京都議定書は, 先進国にのみ削減を義務づけ, 拘束力のある目標を設定したのに対し, パリ協定は自主的に設定した削減目標の提出を, 発展途上国を含むすべての締約国に課した。

問6 a-エルニーニョ b-ラニーニャ c~f-②

4

問1 a・bーイングランド・ウェールズ（順不同）

cーヨーロッパ共同体（EC） dーユーロ

問2 暖流の北大西洋海流上を吹いてくる偏西風が卓越するため。

問3 地価や家賃，生活費が高騰し，既存の住民が住めなくなったり，それまでのコミュニティが崩壊したりする。

問4 eー経済連携協定（EPA）

両者の違いー自由貿易協定は，関税や輸入制限など貿易障壁の撤廃や，サービス貿易の自由化などについての協定であり，経済連携協定は，自由貿易協定に加えて，投資規制の撤廃や知的財産の保護，人的交流の拡大などの広範な連携を含む包括的な協定である。

問5 EU への拠出金に対する財政負担や，移民増加による保険・医療制度の維持が困難になったことへの不満が高まったため。